

## 我ら 50 期 ここにあり

### ヒーローとヒロインはどうして生まれるか？

大人も子どもも事故やトラブルがないように組織や集団のしきみがあるけど、どうしてもミスや事件が起こってしまう。そういう時に、「どこの部署の問題なんだ」「誰が担当だったんだ」と、ミスやトラブルを責める人が多い中、「これは私の問題だ」と考え、責任の追及をするのではなくそこに何が足りないかを探り、自分に何ができるかを見つけ出して、組織や集団を支えたり守ったりします。誰かのピンチに颯爽と登場し、困っている人や弱い人を助けるのです。こんな時にヒーローやヒロインが生まれるんです。そのヒーローやヒロインは他の誰かじゃなくて自分なんです。それなのになぜその力を発揮できないんでしょうか。それは、「自分のせいじゃない」「できるだけサポートで楽をしたい」「人がやってくれていることに文句を言う」人(自分)が、自分の心の中にいるヒーローやヒロインの足を引っ張り首を絞めるからです。そんな困難な状況の中で生まれる「新しい願望」＝「自分がやらなければ誰がやる」の境地にたどり着いた人がヒーローやヒロインになれるのです。

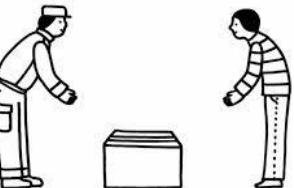


### ここからが正念場！

心の弱い卑怯な人になると、「何か自分には運命が向いていない」だとか、「世間がまだ本当に認めてくれない」だとか、もっとあきれた人になると、「環境が整っていない」だとか「誰々が手伝ってくれない」とか、何かうまくいかないときに、何でも自分以外のもののせいにする人がいますが、それは了見違いですよ。もっとはっきり言えば、やれ運命がつまらないの人生がつまらないのって人は、その考え方がつまらないんです。いいですか、幸福も健康も成功もほかにあるんじゃないんですよ。みんな自身の中にあるんですよ。運が向こうから、皆さんの方へお客様のようにくるんじゃないんですよ。すべての幸福や好運は、自分が呼び寄せなければ来やしないです。もっとやさしくいうと、積極的な心の持ち主にだけ呼び寄せることができるんです。

### 「ありがとう」の意思表示

自分がやらなければいけないことを、誰かが代わりにやってくれたとき、「ありがとうございます」と言いますよね。欲しかった何かをもらったときも「ありがとう」と言うでしょう。何か手助けをしてもらったときや、嬉しいことをしてもらったとき、私たちはお礼の気持ちを「ありがとう」で伝えます。仕事は「誰かの役に立つ」ものだと話をしてきました。では、誰かがしてくれた仕事に対してのお礼の気持ちはどう伝えるのでしょうか？仕事に対しては、「お金を払う」ということが「ありがとう」の意思表示になります。「自分ができないことや、やりたくないことを代わりにしてくれてありがとう」。「欲しいものを提供してくれてありがとう」。お金を払うという行為には、そういう意味が含まれています。世の中は仕事によって助け合いのネットワークができるおり、仕事に対しては、お金を払うことでお礼の気持ちを伝えるルールなのです。お金を払うことへの意味はもう1つあります。例えば、コンビニで250円のケーキを目にしたとき、あなたは買いますか？買いませんか？「ちょうどお腹がすいていた」「おいしそうに見える」「250円なら安い」という場合は買うでしょう。「お腹がいっぱい」「あまり好みの味じゃない」「250円もするの高い」と言う場合は買わないですよね。これは、その時の自分にとって、「そのケーキに250円の価値があるか、ないか」を判断しているということです。つまり、お金を払うということは、祖の金額分の価値があると思っているという意思表示があるのです。



### 三連休をどう過ごすか？

この土・日・月の3日間は、いつもの「三日坊主3DAY」より価値が高いですよ。習い事や塾以外の時間はみっちりきっちり机にかじりついて勉強しましょう。土日月で丸3日勉強できるですから、朝・昼・晩に区切って計画を立てて、自分の限界に挑戦しましょう。すぐに疲れて休憩とかばっかり言っていてはいけません。数学をやって疲れたから休憩がてらに社会を覚えるとか、技術・家庭科をやって国語をするとかいう具合に、脳を違う使い方をしてフル活動させなさい。勉強に挑みかかりなさい。この3日は黄金の3日なんです。

